

.....タールフリー変性エポキシ樹脂塗料.....

エポテクトタールフリー

epotect tar free

エポテクトタールフリーHB

epotect tar free HB

エポテクトタールフリー

epotect tar free

エポテクトタールフリーHB

epotect tar free HB

関西ペイントの"RC(レスポンシブル・ケア)活動"

化学物質に関する、安全・健康・環境面の対策を実行する。
(責任ある配慮・活動)



「地球環境にやさしい塗料の開発」
「21世紀へ向けた技術革新」

コールトールの危険性・有害性

該当法規

- ・ 労働安全衛生法施行令 第22条
(健康診断を行うべき有害な業務)
- ・ 特定化学物質等傷害予防規則(第二類物質)

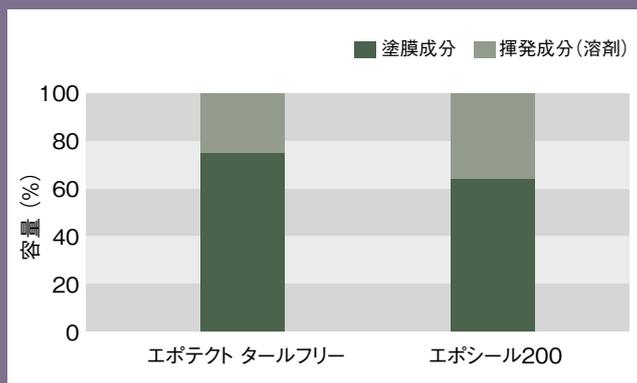


定期(6ヶ月毎)健康診断の実施義務

対象業務: 5%以上のコールトールを含有する物品を製造、
または、取り扱う業務

高固形分(ハイソリッド)

揮発成分が少なく、環境への配慮が図れる。



エポテクト タールフリー及び エポテクト タールフリーHBの特長

- ① コールタールを含まないタールエポキシ樹脂の代替塗料。
- ② 高固形分(ハイソリッド)タイプである。
- ③ タールフリーなので、塗り重ね時のニジミがない。
- ④ 耐薬品性・耐油性が優れている。
- ⑤ 耐海水性・耐水性が優れている。
- ⑥ 強じん度、たわみ性と耐摩耗性がよい。
- ⑦ 鋼板表面およびショッププライマーに対する付着性が優れている。
- ⑧ 厚塗り性に優れており、1コートでの厚膜仕上げも可能。(最大500 μ m/回)
- ⑨ HBタイプでも専用のエアレス塗装機を必要とせず、標準品と同様の塗装機で可能。

推奨用途

従来、タールエポキシ樹脂塗料を使用していた橋梁
プラント・水処理設備などの分野

橋 梁

電力水処理施設(ペンストック内面・水門没水部等)

化学プラント関連施設

港湾関連施設

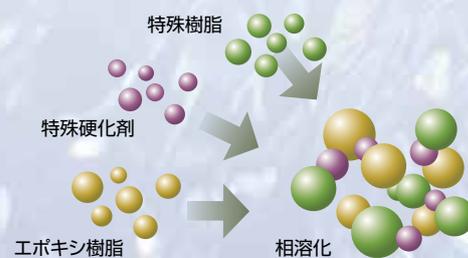
塗料設計上のポイント

1) 特殊変性樹脂の開発

コールトールに代わる耐水性の良い樹脂

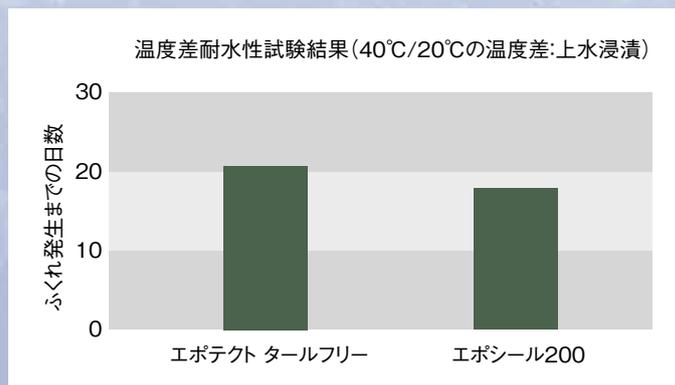
2) 相溶化技術

3成分を安定して相溶化させる技術の確立



塗膜性能(防食性:温度差耐水性試験)

温度差耐水性はタールエポキシ樹脂塗料より良好。





塗付量と膜厚

塗料名/塗装方法		平均膜厚		標準塗布量 (g/m ² /回)
		Dry (μm)	Wet (μm)	
エポテクト タールフリー	エアレス	120	225	360
	ハケ	60	125	180
エポテクト タールフリー HB	エアレス	500	900	1700
	ハケ	250	450	760

※標準塗布量は、塗装時の条件や被塗物の形状などにより増減します。

荷姿など

色合	エポテクトタールフリー		エポテクトタールフリー HB	
	ブラック、ブラウン		ブラック、ブラウン	
荷姿	標準形	19kgセット	標準形	19.5kgセット
	低温形	20kgセット	低温形	20.5kgセット
	ベース	17.0kg	ベース	17.0kg
	硬化剤	2.0kg	HB硬化剤	2.5kg
	硬化剤W	3.0kg	HB硬化剤W	3.5kg
シンナー	テクトEP内面用シンナー		テクトEP内面用シンナー	
消防法	ベース	第2石油類	ベース	第2石油類
	硬化剤	第2石油類	HB硬化剤	第2石油類
	硬化剤W	第1石油類	HB硬化剤W	第1石油類

※気温 10℃以下をメドに硬化剤 W (低温形) をご使用ください。

乾燥性

エポテクトタールフリー、HB 共通

		5℃ ※2	20℃	30℃
乾燥時間	指触	1時間	2時間	1時間
	半硬化	16時間	8時間	6時間
標準 乾燥時間	最短	20時間	24時間	16時間
	最長	14日	10日	10日
可使用時間		5時間	6時間	4時間

※ 1. 同じ塗料または同系統の塗料を塗り重ねる場合。

※ 2. 5℃のデータは低温形硬化剤使用の場合。

※ 3. 没水部に使用する場合は、標準形で7日間、低温形で、5日間(20℃時)以上の養生期間を取ってください。

推奨塗装仕様

1. 標準タイプ 推奨膜厚 120 μm / 回

工程	製品名	塗装方法	標準塗分量 (g/m ² /回)	乾燥膜厚 μm	乾燥時間(20℃)	
					min	max
素地調整	プラストによりSSPC SP-10 (ISO Sa2 1/2)まで除錆する。					
1層目	エポテクトールフリー	エアレス塗装	360	120 [※]	1日	10日
2層目	エポテクトールフリー	エアレス塗装	360	120 [※]	1日	10日

※ 250 μm / 回までの厚塗りも可能です。

2. 膜厚タイプ 推奨膜厚 500 μm / 回

工程	製品名	塗装方法	標準塗分量 (g/m ² /回)	乾燥膜厚 μm	乾燥時間(20℃)	
					min	max
素地調整	プラストによりSSPC SP-10 (ISO Sa2 1/2)まで除錆する。					
1層目	エポテクトールフリー HB	エアレス塗装	1700	500	1日	10日

ご使用上の注意事項

製品取扱上の注意事項(安全衛生)

- 下記の注意事項を守って下さい。
- 詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照下さい。

■ 予 防 策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護めがね・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■ 対 応

- 目に入った場合:直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合:直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合:空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保 管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること

■ 廃 棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

■ 施工後の安全

- 本品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
北関東信越 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

東京 TEL(03)5711-8902 FAX(03)5711-8932
中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603

中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

(22年10月33刷PPO)カタログNo.341